

山口大学大学院創成科学研究科 教員公募

募集人員	准教授又は講師 1名
所 属	山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 電気電子工学分野
専門分野	スピントロニクス
着任時期	令和6年4月1日以降の早い時期
業務内容	<ol style="list-style-type: none">1. 積極的な研究活動2. 査読付論文の発表や特許取得等、研究成果のアウトプット活動3. 国際会議等における研究結果の発表を含む、社会・国民への研究成果の発信及び利用促進に関する活動4. 外部資金の積極的な申請および獲得5. 学部生・大学院生への授業及び研究指導6. 所属部局が必要と認めた業務
担当科目	<ol style="list-style-type: none">1. 工学部電気電子工学科における講義、実験、演習等2. 大学院創成科学研究科電気電子情報系専攻、物質工学系専攻における講義、実験、演習等3. 共通教育科目
応募資格	以下に掲げる条件を全て満たす者 <ol style="list-style-type: none">1. 博士の学位を有すること。2. スピントロニクスに関する研究業績を有していること。3. スピントロニクス現象の理解と新機能デバイスへの応用に興味を持ち、それらに関連する研究を推進できること（実験・理論は問わない）。4. 担当科目の授業及び学生の研究指導ができること。
待 遇	給与等雇用条件は、本学の規則による。年俸制を適用する。
提出書類	<ol style="list-style-type: none">1. 履歴書 写真貼付、学歴（高等学校卒業以降）、職歴、所属学会等、連絡先（本人に直接連絡が可能なもの）を記載すること2. 業績リスト 原著論文、国際会議論文、著書、解説、研究発表、招待講演、特許、受賞等のリスト。論文は査読の有無により分けること。共著者はすべて記入。3. 主要論文（5編以内）4. これまでの研究概要（A4、2ページ以内）5. 着任後に推進したいと考えている研究概要（A4、2ページ以内）6. 教育に関する抱負（A4、1ページ以内）7. 応募者の業績等について照会可能な方2名の氏名と連絡先（所属・職名・勤務先住所・電話番号・e-mailアドレス）

- 応募締切 令和5年10月10日(火)午後5時【日本標準時間】必着
- 応募方法 応募書類は全てPDFファイルにし、下記の応募先e-mailアドレス宛へ送付すること。容量が10MBを超過する場合は、メールを分割して送付すること。その際、PDFファイル名の最後に1_3、2_3、3_3など応募書類の分割数が分かるようにすること。折り返し受理通知のe-mailを返信するので、必ず確認すること。
- 選抜方法 書類選考の後、必要に応じて面接による最終選考を行う。本人宛にe-mailで選考結果を通知する。面接に係る旅費は、自己負担となる。
- 応募先 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1
山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 電気電子工学分野
分野長 若佐 裕治 E-mail: eechair@yamaguchi-u.ac.jp
- 問合せ先 〒755-8611 山口県宇部市常盤台2-16-1
山口大学大学院創成科学研究科 工学系学域 電気電子工学分野
教授 長浜 太郎 E-mail: nagahama@yamaguchi-u.ac.jp
- その他
1. 応募に係る個人情報、個人情報保護法に基づいて適切な取り扱いをします。
 2. 山口大学では、男女共同参画を推進しており、「男女雇用機会均等法」第8条の規定により、研究者の女性割合を積極的に改善するための措置として、女性を積極的に採用します。
 3. 本学では、子育てや介護等によるライフイベントと仕事の両立支援を積極的に行っており、病児保育を利用した際の助成制度、研究補助員制度、メンター制度、研究活動復帰支援制度、介護支援制度などを整備しております。
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

山口大学はワークライフバランスを支援しています！

山口大学では、大学の構成員（学生・教員・職員）のダイバーシティ（多様性）を積極的に高め、同時に各自の個性と能力が最大限に発揮できるような労働環境の整備に取り組んでいます。そのために、ダイバーシティ推進室ではジェンダーバランスの促進をはじめ、ワークライフバランスのための様々な取組を進めています。詳しくはホームページでも紹介しておりますので、ご覧ください。

<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~diversity/>

研究についての支援

研究補助員 制度

ライフイベントを抱える本学の研究者を対象に、学部生や大学院生を研究補助員として配置することが可能です。

研究活動 復帰支援制度

ライフイベントによる休業等から復帰後1年以内の本学の研究者を対象に、研究活動にかかる経費の一部を助成します。

女性研究者 メンター制度

学内において、主に新任の女性教員等を対象に、教育・研究上や大学生活上のさまざまな疑問や悩みを相談できる教員（メンター）とのマッチングを行います。

留学生 サポーター 制度

語学力で研究活動のサポートを目的として、英語・中国語・韓国語を母国語とする留学生を紹介し、母国語を用いた研究活動の補助業務のためにサポーターとして配置することができます。

子育てや介護についての支援

学童保育 ヤマミイ学級

小学校の夏・冬・春休みの間、教職員・学生のお子様を預かる学内学童保育「ヤマミイ学級」を運営しています。教員や学生による大学ならではの多彩なプログラムも提供しています。

たんぽぽ保育園 (小串キャンパス)

医学部や附属病院の職員を対象として、安心して働けるよう学内保育園を整備しています。

基本保育90名
病後児保育3名

企業主導型 保育所

地域の企業主導型保育施設（6施設）と利用契約を締結し、保育サービスを利用することができます。

病児保育施設等 利用助成制度

教職員（共済または社会保険加入者かつ配偶者がある場合には配偶者が就業中の方）のお子様が病児保育施設を利用した場合に、利用料の一部を助成します。事前登録制です。

学内託児 スペース貸出

教職員がお子様の保育のために利用できる託児スペースを学内で貸出しています。保育者は利用者が自費で用意します。保育者については、ダイバーシティ推進室が紹介することもできます。

介護支援

法人契約を締結している支援団体の提供することができます。

【相談】
介護に関するあらゆる相談についてメール・電話・面談にてお受けします。

【代行業務】
離れて暮らす御両親のお世話を専門職が代行し、支援します。

カウンセリング 相談制度

本学の教職員等を対象に、臨床心理士の専任カウンセラー2名体制により、家庭生活を含むあらゆるご相談やリフレッシュに対応します。



検索